

高等学校 令和7年度

教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館書店『文学国語』 ）

使用教材：（ 浜島書店『新訂版国語便覧』大修館書店『文学国語学習ノート』文英堂『書いてマスター常用漢字』新潮社『こころ』

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・想像したり共感したりしながら、自分自身の生き方を見つめる。 ・自身の人生における「選択」について考える。	飛ぶことを知っている魂 十八歳の選択	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	・構成や表現の效果に着目しながら、寓意的な表現に込められた主題を読み取る。	山月記 【文学を読むために】登場人物の状況 【書く】構成を考えて書く	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・登場人物の心理の動きを把握し、主題について深く考える。	こころ 【文学の扉】青年と近代文学 【文学を読むために】小説の語り手	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	・寓意を読み取り、主題について考察する。 ・舞台設定や時代背景をふまえて読む。	アルプスの少女 美神	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・舞台設定や時代背景をおさえ、作品のテーマについて考えを深めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・詩や俳句の形式やリズムを味わう。 ・韻文の表現や効果について理解を深める。	短歌・俳句・詩	【知識・技能】 ・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70